

始動！ 第1回 堺の森活

～森を守って、森で遊ぼう、学ぼう～

令和5年
12月2日

【開催日時】
令和5年12月2日(土)
10時00分から14時30分まで

【開催場所】
南部丘陵緑地(堺公園墓地の川向い)など

【参加者】合計107名
市民：80名
企業：27名

南海電気鉄道(株)：7名、
泉北高速鉄道(株)：1名、
(株)DINS 関西：6名、セッツ(株)：2名、
(株)ソマノベース：1名、(株)羽車：8名、
アメニス・ECCOMグループ：2名

【協賛】南海電気鉄道(株)

【協力】アルスコーポレーション(株)、セッツ(株)、(株)ソマノベース、(株)羽車、鉢ヶ峯営農組合、大阪公立大学 農学研究院 加我宏之教授
堺自然ふれあいの森(指定管理者およびインターン生[大阪公立大学3名、近畿大学1名])

【内容】●里山管理体験(森の探検、下草刈り、間伐、玉伐り)
●里山環境体験(森の探検、葉っぱ・どんぐりクラフトなど)
●森遊び体験(森を知って楽しむプログラム)



市内で唯一の豊かな里山環境が残された南部丘陵。この貴重な環境を次の世代へ伝えていくため、森の価値や資源の活用に関する普及啓発や、南部丘陵の保全・再生を担う人材育成をめざす「堺の森活」が始動しました！第1回となる今回は、市民、地域、企業、大学、行政が連携して里山の保全活動や里山の環境にふれて学ぶ体験イベントを開催！多くの親子連れの市民の方々にご参加いただきました。

■開会あいさつ・里山の機能についての説明

開会にあたり、堺市、南海電気鉄道(株)様より挨拶がありました。また、大阪公立大学の加我教授から、活動目的のほか里山の機能や保全の必要性などについて説明していただきました。



■里山体験

小学生以上の方々には実践的な里山管理として下草刈りや間伐等を体験する「里山管理体験」に、小さなお子様連れの方々には里山の自然に触れる体験をする「里山環境体験」にわかれ、班ごとに里山体験をしていただきました。「里山管理体験」では、コロナ禍で手入れができずネザサなどの下草が繁茂した場所のほか、新たに手を加えた場所もありました。

コロナ禍前まで作業をしていた場所も、ネザサが繁茂してしまいました…



作業前(ネザサが繁茂したようす)

下草刈りや間伐など手入れをしたことで、すっきりと明るい森になりました！



作業後(ネザサが刈り取られ、道ができました！)

■班ごとの体験

各班に分かれて、シリブカガシのドングリや里山の植生などについて解説をしながら森の探検をしていただきました。その後、コロナ禍で手入れができずネザサなどの下草が繁茂してしまったことや、ナラ枯れの被害が出ていることなどについて解説をした後、里山体験をしていただきました。

各体験では、堺自然ふれあいの森のインターン生(大阪公立大、近畿大の学生)のサポートにより、普段学ばれていることをいかして、作業を安全に行えました。



◇里山管理体験(3～6班：小学生～大人向け)

ネザサが繁茂した場所の下草刈りをした後、間伐や木を短く切りそろえる玉切り、道具の手入れなど、基本的な里山管理の作業を体験しました。



◇里山環境体験(1～2班：小さなお子様連れ向け)

森の中にある落ち葉や木の実など、森で採れる資源を活用したクラフト体験をしました。素敵な作品がたくさんできました。



はっぱのお絵描きや王冠をつくりました！



◇森遊び体験 森にある材料を活用して、森を知って楽しむプログラムを実施しました。参加企業の皆さんの企画等による様々なプログラムを体験しました。



たたき染め

丸太切り体験

焼き芋、シロ焼き体験

木をほじって虫探し

クラフト体験

企業協賛・協力等 多くの企業の皆様より、運営サポートやプログラム提供、資材の提供をいただきました。



【南海電気鉄道(株)】送迎バス、里山環境体験のスタッフサポート、丸太切り体験プログラム提供

【アルスコーポレーション(株)】ノコギリやハサミなどの道具の提供

【セッツ(株)】資材(衛生用品)の提供

【(株)羽車】森遊び体験の資材(紙類)の提供

【(株)ソマノベース】森遊び体験のプログラム(たたき染め)提供

■営農組合協力による炊き出しと野菜販売

地元の営農組合さまにご協力いただき、里山の豊かな環境の中で育てられた上神谷米(にわだにまい)や地元野菜を使った昼食の炊き出しや、朝採れ野菜の販売をしていただきました。



炊き出しの様子

朝採れ野菜の販売の様子